

いまよりの風

令和5年(2023年)9月1日発行

学校通信 第99号

北海道今金高等養護学校

〒049-4304

瀬棚郡今金町字今金 454-1

TEL 0137-82-3121 FAX 0137-82-3092



教員の学びは生徒の学びのロールモデル

校長 飯出 広行

第2学期がスタートして1週間余りが過ぎました。校内には生徒の声が響き、意欲的に教育活動が展開されていることをうれしく思います。

さて、夏季休業中は、生徒は学校や寄宿舎を離れ、自分の意思やルールに基づき自律した生活力を身に付けたり、居住地の行事や活動に参加するなど生活経験を広げたりすることができる貴重な期間です。教員もこの間は、研究と修養に努める期間となります。

教員は、通常は授業や行事の準備に追われ、落ち着いて研修する時間が取れません。この期間は、自らの課題等に応じた研修に時間を割くことができる貴重な期間です。本校の教員も主体的に各種の研究大会や研修会に参加する姿がありました。

『学習指導要領』の改訂や『令和の日本型学校教育』の構築によって、生徒の学びは、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるための、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。そんな中、教員の研修も、新しい研修制度が導入させ、教員の新たな学びの姿が示されました。

- ・環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探求心をもち、新しい知識技能を学び続け、子ども一人一人の学びを最大限に引き出し、子どもの主体的な学びを支援する伴走者となること
- ・専門性を高めていく営みを自覚しながら、誇りをもって、主体的に研修に打ち込むこと
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現するという観点において、教師の学びは子どもの学びのロールモデルとなること

正に、「教師の学びは子どもの学びのロールモデル」として、変化を前向きに受け止め、探求心をもち、学び続け等、主体的に研修に打ち込むこと、そんな教員の育成を、学校として取り組んでまいります。それが、本校の教育活動の充実につながることはもとより、生徒個々の成長と発達を実現させるものであります。

保護者の皆様、地域及び関係機関の方々、引き続き2学期も本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

2学年宿泊研修

7月11日(火)から13日(木)の2泊3日で道南(せたな町～森町～函館市)方面に宿泊研修に行ってきました。研修では、せたな町で事業所見学、ネイパル森で野外炊飯、函館市で自主研修・工場見学を行いました。また、宿泊したホテル内でバスルーム清掃やリネン交換を行う就労体験を行いました。天候には恵まれませんでしたでしたが充実した3日間を過ごすことができました。



ピリカアウトドア

地域の歴史や文化に触れ、魅力を体感する1学年の「ピリカアウトドア」を7月12日(水)に行いました。今金浄化センターで下水の処理方法や水を綺麗にする微生物のはたらきについて学習し、教育委員会の方の案内で、神丘地区のインマヌエル教会や神丘の歴史について見聞を広げました。ピリカ旧石器文化館、ピリカ遺跡では旧石器時代の遺跡を見学し、当時の様子や遺跡発掘の軌跡など興味深く学びを深めました。午後からは生憎の雨により、学校での昼食とレクリエーションとなりましたが、生徒たちは自分の役割を全力で取り組み、個々の持てる力を発揮できる学習の機会となりました。



10月の行事予定

日時	予定
2日(月)	・ I MAYO週間(～6日)
4日(水)	・ 1学年社会見学
5日(木)	・ マラソン大会練習日
13日(金)	・ マラソン大会(予備日20日)
18日(水)	・ 学校見学会
19日(木)	・ 総合避難訓練
30日(月)	・ 学校祭特別日課(～11/27)

子ども相談支援センター
相談窓口のお知らせ

- ・ いじめられている...
- ・ 学校に行きたいのに行けない...
- ・ 誰かに聞いてほしい...

そんな時に、相談できる窓口があります。

● 電話相談
0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)

● メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談をご利用ください。